

どうぶつ体幹たいそう&目のたいそう

教科・場面

みるきく

授業・実践のねらい

授業のはじまりを意識するとともに、見る力を養う。

対象の児童・生徒

中学部 グループ

- ・絵本や対象物を見ることに課題がある
- ・近くのものや色鮮やかなものは見ることができる
- ・音楽に合わせて体を動かすことが好きで、導入の体操の時間を楽しみにしている

教材・教具

「どうぶつ体幹たいそう&目のたいそう（おいかけっこ）ハイパワーバージョン」の音源♪

パペット人形



工夫したところ

対象物が見えやすく、興味を持ちやすくなるようにパペット人形を使用した。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

◎パペット人形を使用してのあいさつや出席確認【通年】

（音のなるサルのパペット人形を授業の最初と最後に登場させる）

◎ふれあい体操【前期】

（模倣がしやすく、体を大きく動かせる体操で教員とのコミュニケーションを図る）



模倣や自発的に体を動かすことが難しい生徒もなにかしら自分でできる体操はないかな？

みるきくの授業らしく“みる”に繋がる体操はないかな？

⇒地域の学校に向けて自立活動支援部の先生方が作成した体操に出会った！！

◎どうぶつ体幹たいそう&目のたいそう（おいかけっこ）～ハイパワーバージョン～【後期】

（今まで取り組んでいた体操とビジョントレーニングを合わせた画期的な体操）

授業・実践を通じた児童生徒の変容

パペット人形が出てくると「授業が始まる」「名前が呼ばれる」と見ようと意識する様子が見られるようになってきた。パペット人形を目で追いかけることは難しいが、動きに合わせて上下左右に顔を動かしたり、近づいてくる人形に手を伸ばしたりできた。また、少しずつではあるが絵本や対象物を見る回数や時間が増えてきた。